

大会編



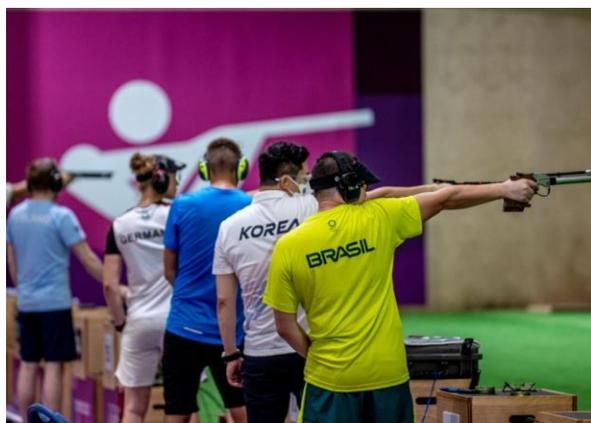
オリンピック・パラリンピック射撃

- 陸上自衛隊朝霞訓練場 (Asaka Shooting Range) -

オリンピック、パラリンピック共に、無観客開催となりましたが、選手・関係者を始め、国内外から多くの方が参加しました。

オリンピック射撃〈2021年7月24日(土)～8月2日(月)〉

ライフル&ピストル



Miriam Jeske/COB



NRAJ/Naoya Okada



Tokyo 2020 / Ken Ishii



Tokyo 2020 / Ken Ishii



© (一社) 日本クレー射撃協会



Tokyo 2020 / Ken Ishii



NRAJ/Naoya Okada



パラリンピック射撃〈2021年8月30日（月）～9月5日（日）〉

新座市は、県内唯一のパラリンピック開催会場です。オリンピックと同様、熱い闘いが繰り広げられました。



Tokyo 2020 / Kenta Harada



Tokyo 2020 / Kenta Harada



Tokyo 2020 / Kenta Harada



Tokyo 2020 / Kenta Harada



【インド】J.P.オウティヤルさん（ナショナルコーチ） / メダリスト アパニ・レカラさん 提供



【スウェーデン】メダリスト フィリップ・ヨンソンさん提供



NRAJ/Ryoichiro Tanaka



Tokyo 2020 / Kenta Harada



大会準備編

大会直前イベント編

大会編

レガシー編

資料編

会場内の様子



▲庭園風の休憩スペース



▲片山小、第四小の児童が育てた朝顔が会場を彩る



▲クレー会場外観



▲会場に描かれたピクトグラム



▲選手が行き交う会場



▲観客の退場口
(学校連携観戦プログラム)

関係者輸送

大会期間中、栄緑道は、組織委員会や報道機関の関係車両駐車場として利用されました。

選手・関係者は専用車両に乗り、市内を通過して選手村と会場を行き来しました。



PICK UP!!



埼玉県ライフル射撃協会会長 田中 僚一郎さん

(ASR FINALS HALL RANGEMASTER(東京2020射撃決勝会場責任者))

東京2020大会は1年の延期、さらに無観客といった例を見ない特別な大会だったと思います。

予定していたボランティアさんも半分の方が辞退され、大会運営を危惧する状態からのスタートでした。

そのような中、参加された多くのボランティアの方が、スケジュールを調整され、連日業務にあたってくださいました。

オリンピックに参加されたアスリートをオリンピックと呼びます。パラリンピックはパラリンピアンですね。

私は、アスリートだけではなく、この東京2020に関わった方、全てを、オリンピック、パラリンピアンと呼びたいと思います。既に会場は土に帰りました。

多くのオリンピック、パラリンピアン笑顔と感動を心に留めておきたいと思います。

ARIGATO. ASR!!

※ASR: Asaka Shooting Range (朝霞射撃会場)

PICK UP!!

パラリンピック射撃参加者からのメッセージ



スロベニア

◀フランチェク ゴラズド・ティルシェク選手

(写真奥中央)

まず最初に、このような状況の中でオリンピック・パラリンピックを成功させた主催者の方々に心から感謝します。

コロナ禍において、日本が大会を開催したことは本当に素晴らしい功績です。

また、大変な状況の中で行われた大会中には、オリンピック、パラリンピックの選手達がそれぞれの競技を続けられるように、大会関係者の皆様はできる限りのことを労力を厭わず尽くしてくれました。

私はTokyo2020で銀メダルと銅メダルを獲得することができました。

私の努力の結晶でもある2つのメダルは、日出る国の日本の皆さまのおもてなしの心と優しさに照らされ、これからも輝きを増し続けることでしよう。

※メッセージ抜粋



ウクライナ

◀イリーナ・シチェトニク選手

パラリンピックは、私にとって素晴らしい価値のある大会でした。

私にとって初めてのパラリンピックであり、一生忘れることがない大会となりました。

自分自身が、プロとしての自覚をもって歩み出すことができた大会でもあります。

Tokyo2020は私に翼をくれたのです。

We have wings!!

インド

▼アバニ・レカラ選手

(写真左)



スウェーデン

フィリップ・ヨンソン選手▶

(写真左)

私の東京2020は素晴らしいものでした。

パラリンピックで金メダルを獲得するという私の夢が実現したのです。

このパラリンピックを一生に一度と思い、全てをかけ、自分の競技のために努力し、練習を重ねて結果につながりました。



私にとって東京2020パラリンピックは一生に一度あるかないかの素晴らしい経験でした。

初めてのパラリンピックでしたが、国のために獲得した金メダルと銅メダル二つがこれからも私の大切な思い出として残る記念すべき大会となりました。

メダルの獲得はもちろんですが、これからの人生においても役立つ貴重な教訓を学ぶことができました。

日本の皆様、最高の思い出をありがとうございました。



チェコ

◀オールドリッチ・ヤンチャ 射撃チームリーダー

コロナ禍での苦労があっただにもかかわらず、日本は素晴らしい大会を行ってくれました。最善を尽くし、私たちができるだけ楽しめるようにしてくれた皆さんに感謝しています。

将来、日本でまたこのような国際的な大会（WSPSのワールドカップやチャンピオンシップ）が開催されることを切に願っております。

※メッセージ抜粋

学校連携観戦プログラム

オリンピック、パラリンピック共に無観客開催となりましたが、パラリンピックは、自治体の判断で学校連携観戦プログラムを実施することとなりました。新座市では、栄小学校児童が射撃会場で試合を観戦し、埼玉県内で唯一の観客となりました。

射撃会場に隣接する栄小学校は、「日本で一番会場に近い学校」を掲げ、様々なオリンピック・パラリンピック教育に取り組んできました。

会場での観戦は、これまでの学びの集大成として、貴重な経験となりました。



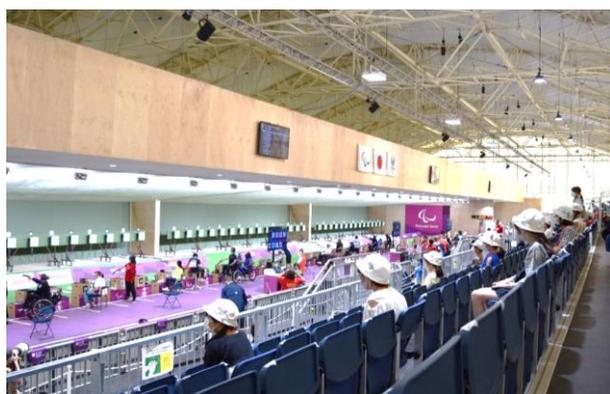
▲入場口の装飾



▲シャボン玉でのお出迎え

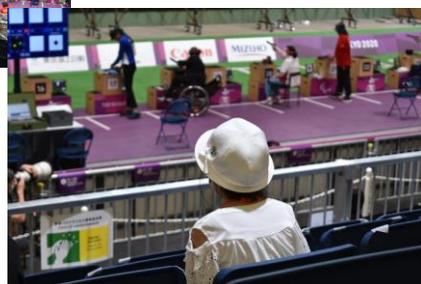


▲スタッフも笑顔で手を振る



◀スタッフから競技説明を受ける児童達

選手が
間近に！▶



▲メダリストに拍手でエールを送る子供達



▲生で見る射撃に興味深々



▲拍手で応援

射撃会場で唯一の観客となりました▶



PICK UP!!

学校連携観戦プログラム参加児童の感想
(感想文より抜粋)

▲ 5年男子

まず思った事があります。それは、「障がいを持っているのに健常者の人と変わらないくらい上手だなあ」です。全員が当たり前のように10点を出して「凄い」と感じました。しかし僕が凄いと思ったのは障がい者だからです。健常者だったらこの気持ちは現れないと思いました。

その後、テレビを見ていると障がい者がこんな話をしていました。「障がい者だからという理由で感動されるのは偏見なのではないか。」最初に聞いたときは全く意味がわかりませんでした。「なんで自分の事を褒めてくれたり、感動してくれてもそれが偏見になってしまうのだろうか。」それが謎で、よく意味がわかりませんでした。

しかしよく考えてみるとこんな考えが浮かび上がりました。「障がいがある人も同じ人間なのだから健常者とは違う理由で感動されても、結局は障がいのある人ない人で分けられているからそれは、偏見につながっているということなのではないか」と感じて、今までの考え方は障がいのある方に逆に失礼だということに気がついて、これからは、「障がい者だから凄い」じゃなくて「人間として凄い」と言えるようになりたいと思いました。

▲ 5年男子

今までで、オリンピックやパラリンピック開催では裏から支えている人の活躍があって、開催できていることを知りました。例えば、みんなが気分良く歩けるようにするために花を植えるボランティアの人々や、サッカー選手がサッカーしやすいように、競技場の芝生を毎日確認して悪くなってないか確認する人や、足の不自由な選手のために義足を作る人など、色々な人がオリンピック開催のために裏で頑張っているのです。そのような気遣いがパラリンピックを見に行き、改めてわかりました。オリンピック、パラリンピックは感染対策を良くしていると聞いたことがありますが、ここまで感染対策を行っているとは思いませんでした。他には、競技場の道にシャボン玉がたくさん飛んでいて、競技場に入る前からワクワクする気分になる事など色々なおもてなしがあり、見に来た人や、選手などが来てよかったと思えるように裏から支えている人がたくさんいる事がわかりました。

そして、競技場の中に入ります。入ったら、競技場の中には腕や足がない選手が的を撃っていました。選手のサポートをしている人がいて、こういう選手のサポートをしている人も裏から支えている人の一人なんだと思いました。

▲ 5年女子

東京2020オリンピック・パラリンピック大会には、選手だけではなく、街をきれいにしたり、花を植えて街に活気をだしたりすることで外国の方が気持ちよく過ごせるようにたくさんのボランティアの方々が協力してくださっているということがよくわかりました。他にもマスクや消毒を呼びかけて新型コロナウイルスの感染を抑えている人がいるのだとわかりました。

そして、今日パラリンピックの射撃競技の予選を見に行き、選手の方が体が不自由でも一生懸命競技と向き合っていることがよくわかりました。

東京2020オリンピック・パラリンピックを見ることはとても貴重な体験になりました。わたしは、東京2020オリンピック・パラリンピックを通して、選手の方々だけでなく、いろいろなボランティアの方々が新型コロナウイルスの感染を抑えたり、街に活気をだして外国の選手の方々にも日本で気持ちよく過ごせるように協力して下さっているのだとわかりました。これからは、私も進んでボランティア活動をして住みよいまちづくりをしていきたいです。

ボランティアの活躍

射撃会場の内外では、ボランティアの皆さんが活躍しました。

大会ボランティア

写真提供：NRAJ/Naoya Okada



PICK UP!!

射撃会場大会ボランティア 武嶋 玲衣さん（市内在住）

小さい頃からスポーツをしてきたこともあり、東京オリンピック・パラリンピックに関われたらと思い、大会ボランティアに応募しました。期間中は選手サポートとして活動しました。

たくさんの人に出会い、オリンピックのリアリティをより近くに、肌で感じる事ができ、大変貴重な経験になりました。

少しでも役に立てたらと思っていましたが、ボランティアは自分のためであったと感じています。



都市ボランティア



▲選手を乗せたバスに手を振ってエールを送る



▲選手達も手を振って応える



▲笑顔でおもてなし（栄小学校前）

PICK UP!!

埼玉県都市ボランティア 尾形 三津子さん（市内在住）

射撃会場前で掃除の後全員で待っていると、選手のバスが来るという連絡。私はフラッグとメッセージボードを持ってスタンバイ。バスが前に来たとき、声は出せなくても精一杯の笑顔でボードを高く掲げました。きっと気持ちが伝わったはず。たった1時間のボランティア活動だったけれど、2か月前に夫を見送った私の背中を力強く押してくれました。



ブラジル選手団の活躍

写真提供：ブラジルオリンピック委員会

大会準備編

大会直前イベント編

大会編

レガシー編

資料編



アリソン ドス サントス選手(400mハードル)



ジュシレーニ サーリス ジリマ選手(やり投)



アナ クラウジア レモス選手(4x100m)



アナ カロリナ アゼベド選手(200m)



マテウス ジ サ選手(三段跳)



ティファニー マリーニョ選手(400m)



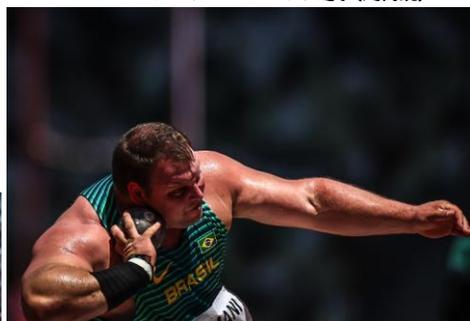
フェルナンド フェレイラ選手(走高跳)



チアゴ アンドレ選手(800m)



シモネ フェラズ選手(3000m障害)



ダーラン ロマン選手(砲丸投)



チアゴ プラス選手(棒高跳)



アンドレッサ モライス選手(円盤投)



アウトベリ ダ シルバ選手(3000m障害)

Congratulations!! 銅メダル獲得!



 **チアゴ・ブラス選手**
(男子棒高跳)



 **アリソン・ドス・サントス選手**
(男子400mハードル)



写真提供：ブラジルオリンピック委員会

PICK UP!!



※本人提供

～新座市での事前キャンプと東京2020大会～

アナ・クラウジア・レモス・

ダ・シルヴァ さん (女子4x100m)

まず、事前キャンプ中、あらゆる努力を惜みずサポートしてくれた新座市の皆さんに感謝の気持ちを伝えずにはられません。食事、宿泊施設、専用車両、練習施設など、私たち選手が心配なく練習できるように色々準備してくれて嬉しく思いました。

また、選手は施設から出られない状態でしたが、必要なものがあつた場合、スタッフが必ず用意してくれました。皆さんからの大歓迎とおもてなしは素晴らしかったです。本当にありがとうございました。

大会期間中の独自イベント

大会期間中は市独自のイベントを行い、市を挙げてオリンピック・パラリンピックを応援しました。

ブラジル応援グルメフェア

2021年7月1日（木）～8月8日（日）

ブラジル選手団の事前キャンプに合わせ、新座市内の飲食店でブラジルに関連したメニューを提供しました。



▲コシーニャ



▲チキンレッグの
ヴィナグレッツソース



▲ブラジルオーガニック農園の
ブレンドコーヒー



▲ブラジル応援
ベジフルスムージー

炭火焼・本格焼酎 架け橋



▲新座のにんじんクリームをはさんだ
ポンデケージョ



▲ムケツカ風つけそば



▲ポンデケージョ

サンジェルマン エキア志木店

co-mame bakery (コマメベーカリー)



▲ フェジョアード ラクチーナ風
(スープ、ドリンク、ミニアイス付き)

天ぷらとそば ツクシ (エキア志木内)



▲和・フェイジョアード・パインミー



▲和・シュラスコ・パインミー

ラ・クチーナ・ディ・プランツォ

和BAL KITCHEN (ワバルキッチン)

PICK UP!!

ブラジル応援グルメフェア参加店舗 (ラ・クチーナ・ディ・プランツォ)

今村 志乃 さん



(左：店舗外観 右：店内)

楽しかった！初のブラジル料理。
レシピ作りからスタートして、食べやすく馴染みやすい味付けて作ったフェジョアード。
オリンピック・パラリンピックと一緒に参加させてもらったような喜びと、料理を作って召し上がって頂くことがとても楽しかったです。
やってよかった！
市役所の皆さんもとても素敵で、今回の企画に参加させてもらい、心から感謝しています。
ありがとうございました。

ブラジル応援メッセージ展

2021年7月23日（金）～8月6日（金）

2021年2月25日から4月14日まで、ブラジル選手団への応援メッセージを募集し、寄せられたメッセージをオリンピック期間中に展示しました。



▲第三中学校の作品



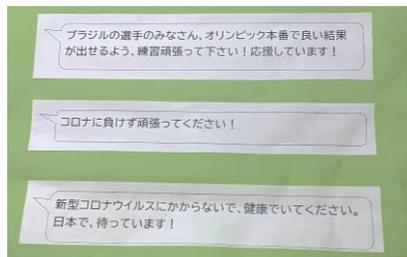
▲東北小学校の作品



▲東野小学校の作品



▲大和田小学校の作品



▲市内外から寄せられた応援メッセージ▲



東京2020公式アートポスターの展示

2021年8月24日（火）～9月5日（日）



▲パラリンピック聖火フェスティバルの様子を紹介



▲都市ボランティアの応援メッセージ



▲国内外のアーティストによるオリンピック又はパラリンピックをテーマにしたアートポスター▲

